



スペシャルオリンピックス日本・大阪ニュースレター

いちにのさん

Vol.65 2023.3/24

発行：認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・大阪 発行人：村上智則
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町11-5 ロータリーコーポ東高津303 TEL：06-7171-7457

2022年スペシャルオリンピックス日本・夏季ナショナルゲーム広島開催!!



夏季ナショナルゲーム広島を終えて

～次のステージへ自信を持って～ 団長 勢木 俊二

11月4日から6日、広島において第8回ナショナルゲームが開催され、大阪からアスリート22名、役員コーチ16名計38名が参加しました。コロナ渦のため、感染対策をしっかりとったうえで日々トレーニングを重ね、大会に臨みました。

開会式の行われる体育館に到着後、ヘルシー・アスリート・プログラム（HAP）に参加し、競技ごとではありますが、口腔、眼、聴力、足等の健康チェックを各自行いました。健康増進や競技能力の向上を図り、健康への関心を高める上で優れた取り組みだと改めて感じました。

その後、全員で、開会式に出席し、お互いの健闘を確認して競技ごとに宿舎に向かいました。私は、今回、競泳チームに帯同しました。競泳チームはアスリート5名で個人種目とリレーに出場しました。各自予選と決勝、2回泳ぎましたが、緊張の中、しっかり泳ぎ切り、決勝では予選よりタイムを縮めるアスリートが多くいました。表彰台でも、満面笑顔、うれし涙などいろいろな表情を見せてくれました。

大阪からは、陸上、卓球、バトミントン、フライングディスク、ボウリング、柔道にも出場しましたが、それぞれの競技会場で、このような光景が見られたことでしょう。また、観戦等でいろいろな制約があるなか、ファミリーも多く応援に駆けつけてくださり、アスリー



Special Olympics Nippon
HIROSHIMA 2022
National Summer Games

Power of Smile

～だれもが輝ける場所へ。～

トの大きな力になったと思います。

アスリートにとっては、この大会に出場したことで、自信を持って次のステージへ進めるものと確信していますし、また、コーチ、ボランティアにとっても、他地区の方々と接するなかで自分で得たものがあったと思います。そして、それらを今後の活動に活かしていきたいものです。

開会式 挨拶 SO日本 有森 裕子 理事長



(写真提供：スペシャルオリンピックス日本)

陸上ヘッドコーチ 長村 泰正

広島へは、アスリート5名、コーチ4名での参加でした。

競技会場では、DAL担当のボランティアの方が3名サポートしていただき、招集やウォームアップに手助けいただき大変助かりました。アスリートとも少しずつ関係を築いていただきスムーズなご支援となりました。

競技は、5000m、1500m、100mと400mリレーに出場しました。大きな会場での戸惑いもなく、陸上競技役員の丁寧な対応で、アスリート一人ひとりが、自分の目標に向かって活動することができました。成績は、個々に違いましたが、達成感をもって終了しました。日頃一緒に練習しているアスリート、コーチで、宿舎から競技会場、式典会場への移動も、安心して行いました。広島駅でお土産を買い、広島焼のテイクアウトをして車内でおいしそうに食べていました。

有意義な参加となったことを嬉しく思っており、この体験を日常トレーニングに活かしていきたいと思いました。

陸上ボランティア DAL担当 齋藤 千穂

広島でのナショナルゲーム、大変お疲れさまでした。お天気にも恵まれ、良い大会となりました。DALとして大阪チームに帯同させていただき、ご一緒する時間のなかで、SOにかかわることになったきっかけのお話もお聞きできありがとうございました。

長きにわたり想いを寄せて活動されていらっしゃるごこと、感動の一言に尽きます。

アスリートとの濃い時間で、個性の豊かさや可能性を感じることもできました。帰りの新幹線で、念願の(!)広島焼も食べることができてよかったですね。

みなさんがおいしくいただいている様子が目に浮かびます。

また、活動機会でお会いできますこと楽しみにしております。

大変お世話になりありがとうございました。

陸上ボランティア DAL担当 ソニー生命 渡辺 竜一

今回初めてDALとして参加させていただきました。

最初アスリートの皆さんと、どのように接すればいいのか右往左往しましたが、逆にアスリートのみなさんから教えていただき、おかげで充実した2日間となりました。本当にありがとうございました。移動疲れとは裏腹に、週が明けてから選手やご家族、スタッフ皆様の屈託のない笑顔を見出し、何かとても清々しい気持ちでおります。次回いただいたTシャツを着て、皆様とお会いできると嬉しいなと思っております。



【陸上チーム DALと共に】



【陸上400m×4リレー 表彰式】

NG広島 陸上ファミリー 山下 寛子

準備段階から色々とお気を使ったNGでしたが、参加させていただいて本当に良かったです。

10月半ばには息子が通う作業所でクラスターが発生しました。幸い息子は陰性でしたが2週間作業所が休みになり、大会までに沈静化するのか不安な日々を過ごしました。

また、夏前からはてんかん発作の間隔が短く、大会中に大きな発作が起きたらどうしようと心配もしていましたが、出発の3日前に発作を起こしたことで「これでしばらくは大丈夫」と安心して送り出すことができました。

年齢とともにマイペースを貫くようになった息子は、いつものように周囲をハラハラさせながらも笑顔で走りました。笑いと拍手の中で無事に完走する息子の姿を見ることができて私も感激しました。応援に同行した3歳の姪も「ゆきが応援したから隆司くん頑張って走ったね〜。」と嬉しそうでした。

Power of Smile~だれもが輝ける場所へ~を実感した広島でした。引率していただいたコーチの皆様はもちろん、大会を支えてくださったすべてのの方々に感謝です。ありがとうございました。

陸上ボランティア DAL担当 ソニー生命 坂本 暁生

秋晴れの中、アスリートの頑張りにも勇気と学びをもらう2日間でした。その間、大阪チームの皆さまとずっとご一緒できましたこと大変嬉しく思っております。

5名のアスリートとの触れ合いは、またひとつ何ものにも代え難い宝物となりました。本当にありがとうございました。活動や理念に触れることで、少しではありますが新たな決意が生まれました。

そして、我が社が持つ社風、そして先人が築いてくれた「相互研鑽と社会貢献」の理念を守り抜くことこそが、我々ライフプランナーが「社会の公器」となるためのミッションであることを改めて思い起こされました。

どうかこれを機に、またいろいろ学ばせていただきたくご指導のほどよろしく願いいたします。

DAL：デリゲート・アシスタント・リエゾンの略です。
チームに同行して活動をサポートする役割です。

広島大会の感想 陸上コーチ 谷澤 祥行

宿舎での生活や競技場でのレースなどストレスが多いなかアスリートがひとつずつ取り組みをクリアしていく様子を見て頼もしく感じました。表彰台に乗った時の誇らしげな顔が印象に残っています。これからも多くの経験を積み重ね、いろいろな場面で彼ら彼女の誇らしげな顔を見たいと思いました。



【陸上 5000m走】

NG広島 競泳ヘッドコーチ 三宅 徹

NG参加のアスリート5名も徐々に近づいていく大会に向けて練習で泳ぎこみ、真新しいユニフォームも受け取り意気込みを高めつつ当日を迎えました。

1日目は、開会式を楽しみました。2日目、朝日に浮かぶ穏やかな瀬戸内海を車窓から眺めながらいよいよ競泳会場(日本製鉄アクアパーク)に到着。歓迎のボランティアの皆さんと挨拶を交わして地区担当のDALさんとも合流し仲間が一人増えて意気揚々。

即アップ開始してディビジョニングラン(予選)では、最初に25m×4自由形リレー予選、それから個人種目。その日の最後にリレーの決勝ランが行われディビジョン2位の好成績でスタートできました。個人レースでも練習以上のタイムのアスリートがほとんどでした。やっぱり、みんな本番に強い!大会2日目の決勝ランでも好成績が出て表彰式へ。

たくさんのお祝いの声や拍手で少し恥ずかしい表情も見えましたが、表彰ステージで胸に輝くメダルは練習で磨いた技術や泳ぎこんできた今までのご褒美でもあり、ひとり一人にとっては掛け替えのない証です。笑顔や嬉し涙、そんな姿に「やっぱり、かっこいい!」と思いました。コーチ陣にとってはその姿を見ることが最高のご褒美であったはずです。ありがとうございます。



【競泳 25m×4リレー 表彰式】

競泳ファミリー 玉川 寿都香

広島でのナショナルゲームに参加できる事になりとても喜んでいて息子です。荷物なども一緒に振り分けし確認しました、とてもスローな息子ですが出発の日には緊張していたのか素早く動いていました。広島駅では多くのサポーターさん達の迎え入れに感激しました。

水泳会場は呉で行われました、コロナ対策のため観覧が屋外のガラス越しでしたがみんなで協力し観る事ができました。個人、リレーとも予選ではメダル獲得には厳しかったのですが決勝での頑張り、特にリレーではみんななすごく頑張り個人、リレーともメダルを頂く事ができました。皆んなの大喜びで涙ぐむ姿をみてもらい泣きました母でした。3日間みんなの楽しそうな笑顔が見れうれしかったです。ありがとうございました。

競泳ファミリー 後藤 千秋

このたびはNG広島に参加させていただきありがとうございました。最も心に残ったのは、大勢のボランティアさんが親切にサポートしてくださったことです。競技会場はもちろん、閉会式会場付近に案内に立ってくださったり、帰りの広島駅では温かいお見送りをいただきましたこと、心より感謝いたします。コロナの不安がある中で様々な工夫をされ、大会を実現してくださいましたことは、並大抵のご苦労ではなかったと思います。今回、広島での大会に参加して経験したことは、息子にとっても糧となることでしょう。本当にありがとうございました。息子大毅は、「きょうえい、たのしかった!がんばった!またおよぐ!」でした。



【競泳チーム DALと共に】

競泳ボランティア DAL担当 間 愛香

私は今回のボランティアに参加した時に、最初は何をすればいいかも分からず、アスリートやコーチの補助が上手くできるか不安でしたが、はじめましての挨拶をした時に皆さんがとても暖かく受け入れてくれて接してくれてとても嬉しかったのを今でも覚えています。アスリートの皆さんは明るい人達ばかりでとても楽しませて頂きました。また、皆さんが一生懸命スポーツに取り組んでいる姿や泳ぎ終わったあとのみなさんの達成感溢れる姿にとっても感動し、プライベートの時と競技中の時のアスリートのみなさんの目の色が変わる姿にとっても刺激をもらいました。私自身も今スポーツを行っているの、皆さんのように本気でスポーツに向き合い、学生が終わるあと1年間悔いの残らないように頑張ろうと改めて思えました。また、コーチの方々もアスリートの方に寄り添う姿、本気の指導、アスリートの泳ぎを見守る眼差しにとっても感動しました。たったの2日間でしたが大阪チームの一員としてアスリートの方を支え応援出来たことがとてもいい経験になり、宝物になりました。選手の皆さんの今後の活躍を心からお祈りしております。2日間ありがとうございました。

柔道ヘッドコーチ 辻和也

今回初めて柔道がプログラムとして開催され、その記念すべき大会に参加できたことを大変うれしく思っています。事前に聞いてはいましたが、実際に参加してみるとその大会規模の大きさにまず驚きました。たくさんのボランティアのかたが広島駅に着いたときから迎えてくださり、アスリートとともに大変誇らしい気持ちになりました。コロナ禍にあって十分な練習が出来ないままの試合となってしまいましたが、当日は各県のアスリートとの交流なども活発に行われ、試合だけでなく成果が得られたと思っています。

夏の大阪チームの合宿以降、大会にむけたスケジュールを組んでのぞめば、本人のモチベーションもまた違ったものになったことと思われましたが、次回にむけての課題としたいと思います。広島



では知的障がい者柔道指導者講習会も事前に行なわれ、現地の柔道指導者に障害者柔道の理解、普及が進んだことも試合運営を見ていて感じられました。準備に関わった先生方には敬意を表したいと思いますし、こうしたことも一つの成果ではないかと思えます。

当日身の回りのお手伝いをしてくださったDALさんの存在などは、直接参加した者でなければ感じることでない経験だったと思います。

柔道アスリート 岡伸也

スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームに初めて柔道で参加できたこと嬉しかったです。開会式終わって大会会長の有森祐子さんと、記念撮影できたこと嬉しかったです。表彰式の高門宮妃久子さまにメダルを首にかけてもらったこと記念にしたいです。また、スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームに参加したいです。



フライングディスクアスリート 林美行

「とても嬉しかったです。また、行きたいです。」



ボウリング競技ヘッドコーチ 柳井祥晴

今回、ボウリング競技には、男性12名、女性3名の出場希望がありました。選考会で男性4名女性2名の計6名の出場となりました。

ミスズボウルは40レーンしかなく、今回初めて2シフトでの競技となりました。アスリートは落ち着いて競技できました。なかなか違うシフトのアスリートの応援ができないことが、残念でした。

予選では、なかなか実力が出せないアスリートとほぼ普段通りのスコアを出せるアスリートに分かれました。決勝では、普段の実力をほぼ発揮したり、実力以上に良いスコアを出すアスリートもいました。多くのアスリートがメダルをもらえることになりました。

ボウリング競技の特性ではありますが、ゲームで大きくスコアが変動することが起こります。マキシマムエフォートルールもあり、普段のプログラムで安定したスコアを出せるトレーニングにしっかりと取り組むことを改めて感じました。今回の大会を通して感じたことは、今後のプログラムに生かしていきたいと思っています。



ボウリングアスリート 朽見隼人

大会は最高に楽しかった。

同じレーンのアスリートは愛知の人でした。友達になれたので嬉しかった。愛知の金のしゃちほこのピンバッチをもらいました。

ボウリングアスリート 溝上絵理

金メダル取れなくてくやしかった。開会式楽しかった。

フライングディスクコーチ 林典子

いろんな方に出会えて、とても良い経験が出来ました。

大阪の選手団の方々に、優しく声をかけて頂いたり、競技別では、他県の方と、FDのお話をし益々、頑張ろうと思ったようです。

ボウリングアスリート 浅野 なつみ

私は、今回はボウリングで参加しました。スコアは2日間ともいつもの練習の時より良かったです。でも、私より上手な人がいて金メダルはとれませんでした。残念だったけど、銀メダルがとれて嬉しかったです。次はもっと頑張ってお金メダルをとりたいです。

開会式で、手話のダンスを見てすごくカッコイイな～と思いました。私も、あんな感じに手話のダンスをやりたいなと思いました。

あと神楽の竜が、たくさん出てきて迫力満点でした。本当に生きているみたいで、すごいなと思いました。

4年前に女子バスケットチームとして一緒に世界大会に行った人たちとまた会うことができました。みんな元気そうで良かったです。

宿舎では、大阪、岡山、岐阜のアスリートと同じ部屋になりました。みんなで女子会をしてとても楽しかったです。またみんなに会いたいです。



卓球競技 ヘッドコーチ 浦本 朋視

ナショナルゲーム広島大会の卓球競技には、アスリート2名、コーチ1名と前回大会より少数で参加しました。

アスリート2名とも予選の結果、ディビジョンが変更となり、苦戦する事を予想しましたが、本選でも通常のプログラムで練習している成果を十分に発揮して、事前合宿で目標にしていた「今までの自分より、一球でも多く相手のコートに返す！」のテーマをクリアできメダルにつながったと思います。

私はヘッドコーチとして2回目の参加でしたが、今大会は、コーチがアリーナに入場することができたため、アスリートを間近で見ることができ、競技中にも他地区のコーチと多くの交流を図ることができました。

卓球 ファミリー 小川 直子

広島は私の故郷で、家族、従兄弟、友達が応援に来てくれました。みんな友輔の成長を見守り、応援し続けてくれており友輔の活躍を見て喜んでくれました。

改めてスペシャルに出会い多くの人に支えられていたことに感謝します。息子は、他地区のコーチ、アスリート、ボランティアさんといろいろな話をし多くの仲間と交流できる場を作っていきたいと話をしたようです。試合では、決勝ディビジョンが上がった中、堂々と戦って銅メダルをとったことも嬉しかったです。

大阪の理事として、みんながいろんな場所で多くの交流の機会が持てるように、話をしてきたという友輔に成長を感じる事ができました。今後は一人でも多くのアスリートがチャンスをつかみ、自分が味わわせてもらったような経験が出来るように、手伝いをしていきたいとの希望を持っています。私も支えて応援していきたいです。

バドミントンヘッドコーチ 原 広実

今回は、シングルスゲームに1名、個人技能コンテストに1名、コーチ2名の4名で参加しました。事前合宿もあり、他競技も含め大阪チームとして、まとまった行動がとれました。

競技会場の広島経済大学の体育館は高台にあり、応援ファミリーは苦勞されたようでしたが、広くてコート数も多くとることができ、スムーズな競技会となりました。

競技役員もアスリートへの対応が穏やかで、安心してゲームや個人技能に参加できました。競技以外の場面でも他地区のアスリートやボランティアとの交流場面もあり、SOの意義を感じました。

広島経済大学バドミントン部員とのユニファイドゲームも大いに盛り上がりました。大会ボランティアの方が、終始笑顔で対応してくださいました。広島駅でお土産を物色中に「こんにちは！」の声に振り返ると、前日DALとして大阪チームについてくれていた方で、私たちではなく、向こうから声をかけてくれたことにも感激しました。

改札を通る時まで多くのボランティアさんがお見送り下さり、笑顔と感謝、感謝の有意義な大会参加となりました。



バドミントンファミリー 竹中 慶子

「広島大会3日目。バドミントンの決勝大会を応援するために広島経済大学に徒歩で向かいました。

天候は快晴。広島経済大学は山の上であり、坂を登って行くと、スペシャルオリックスの旗が青空にはためいていました。久しぶりの光景です。

あっという間に決勝が進められました。その間、大学生のボランティアさんが細かく配慮して頂きました。コート間近で観戦することができて、アスリートの緊張感が伝わってきました。そしていい結果を残せた時のアスリートの喜びの表情も見れました。

ただ、我が子の時は、直視できなくて2階からそっと観ていました。この3年間、交流試合もなくなり、他府県のアスリートと試合ができて、久しぶりの高揚感を味わわせていただきました。

充実した日々を過ごさせて頂いて有難うございました。帰りの広島駅では全国のSOの方々の活気が溢れていました。」



2022年活動報告

2022年は、年度はじめは、活動予定でしたが、1月中旬には、緊急事態の為休止をしました。ようやく、3月より再開ができました。その時の様子を報告いただいたものです。アスリート、ボランティア、そしてファミリーの思いが、あふれています。

バドミントン

ファミリー 中井 直美

2022年も「まん延防止等重点措置」の発令からスタートし、バドミントンは4月からの活動となりました。久しぶりに皆さんと再会できた時は、変わらないお元気そうな様子がとても嬉しかったです。その後は感染状況を気にしながらも、順調に年末まで活動ができました。

我が家は入会後半年足らずでコロナ禍の影響を受けましたが、今年は練習回数も多く、息子は毎回楽しんで参加させてもらえました。そんなご機嫌な息子を見ながら私もホッとできるひとときとなりました。活動できる状況が親子共々本当に有り難かったです。

今後も感染予防に気をつけながらプログラムが継続できることを心より願っています。

陸 上

中河内陸上 ファミリー 渡辺 真由美

今年度もコロナ禍で何度か中止もありましたが、八尾支援での活動をメインに東大阪支援でも活動する事が出来ました。学校を卒業すると運動する場が無いので、スペシャルの活動はありがたいです。

ファミリー 山崎 美子

少ない回数でも、充実した活動が出来ていたと思います。学校卒業して、10年以上の月日が過ぎましたが、今でもスポーツ出来る場があるのは、本当に貴重で有り難く思います。親子共々、身体が動くかぎり継続していきたいです。

ファミリー 竹井 雅代

なかなかコロナが収まらない中、今年も活動することができて嬉しいです。

個人的には、身体を動かす場、そして参加されている皆様に会える場として、親子ともに大いに楽しませていただきました。

ファミリー 小林 和美

コロナ禍でもできる範囲で活動して下さってアスリートはもちろんですがファミリーも協力して楽しく活動できたこと、外の空気を吸いながらいい意味でのストレス発散になりました。

ファミリー 中井 愛子

コロナ禍で、家に籠ることが普通ようになってしまい、身体を動かす機会がどんどん減る日々。そんな中、プログラムで楽しく身体を動かせる事は、とても有難いです！

ファミリー 内蔵 順子

コロナで活動しにくい中、コーチ、ファミリーの皆さんの創意工夫で活動継続していただいているおかげで、今年の活動も、いっぱい笑顔にあふれました。

ファミリー 山口 智美

コロナ禍で、喋ったり、笑ったりする機会も日頃、減った気

がしていますが、soに参加できた日は、親子で、とても晴れ晴れした気分になれます。広い運動場で、一緒に思いっきり活動を楽しめる時間は、とてもありがたいです。

ファミリー 北田 あけ美

コロナ禍に入って3年目、活動の自粛は解除されましたが、今年度も感染対策の中での活動になりました。そのおかげで皆が安心安全に活動に取り組めたのですが、マスクなしでグラウンドを元気に走るアスリートに声援を送れる日が早くきてほしいと願うばかりです。

ボウリング

なわてボウル ファミリー 辰巳 幸子

今年度は、4月以後年末まで21回実施し、怪我やトラブルもなくプログラムを無事行う事ができました。まだまだコロナ禍で行動制限があったりする中、皆さん、集中してボウリングを楽しみ、しっかりとストレス発散できていたようで良かったです。

競 泳

二の切プール アスリート 東谷 賢佑

僕が楽しいのは水泳プログラムの時の体操です。大きな声で始まりと終わりの挨拶をするのが好きです。水泳練習は力を出して頑張っています。手をまっすぐ伸ばして25メートルを早く泳げるよう頑張っています。

ファミリー 東谷 真紀

いつも楽しく参加させていただきありがとうございます。プログラムでの様子をガラス越しに見ています。声は届きませんがアスリートの頑張っている姿をファミリー全員で応援しています。これからも全力で楽しく続けて行って欲しいと思います。

卓 球

アスリート 馬場 環美

今年前半はコロナの影響で卓球プログラムできなかったけれど、4月に卓球プログラム再開して気分転換したり、5月29日枚方総合体育館で近畿ブロック競技会に参加して、とても楽しかったし、私なりに他の人に少し話したりして楽しかったです。

6月末にラケットのラバーを替えて、7月にプログラムで使うつもりだったけれど、体調が悪くなりお休みしました。卓球プログラムの練習に復帰してから、10月に走れるようになった事など、スペシャルオリンピックスの仲間に話を聞いてもらいました。私がスペシャルオリンピックスに入っていなかったら1人で抱え込んでいたと思います。元気になってまた、頑張っています。

● 2023年 スペシャルオリンピックス日本・大阪 冬季合宿 ●

ようやく開催できました。アスリート19名コーチ16名合計35名にてコロナ感染防止に努めて実施しました。今年は、スキー所の雪も多く、隣のスキー場に移動もなくゆったりと各グループでの課題に取り組むことができました。久しぶりの雪上トレーニングを楽しみ、来年の冬季ナショナルゲームへの思いも大きなものとなりました。

スノーシューヘッドコーチ ● 長村 泰正

スノーシューはアスリート3名、コーチ2名の参加でした。3年ぶりの合宿、しかもコロナ禍の開催ということでもいつもと違ったことも多くアスリートにとっては混乱することもあったと思います。いつもなら参加アスリートが10名以上ですが、今回は少人数なので活動量も多くなり、雪山なのにアスリートも、コーチも汗びしょりになりました。

今年は雪が多く、しかもパウダースノーでスノーシューにとっては最高の環境でした。少し山に登って美しい景色を見たり、動物の足あとを探したりして楽しみました。ソリ遊びなどもしながら楽しく活動できました。発表会は30m走の発表をしました。前日に全員で雪をスノーシューで踏み固めてコースを作り何度も何度も発表会の練習をしました。本番ではみんなの前で練習の成果がおもいっきり発揮できたと思います。

スノーボード コーチ ● 西 純也

今回は3人のアスリートが参加しました。僕はスノーボードというスポーツを、楽しむ事を第一に考えています。とにかく滑って滑って滑りまくる。楽しくなって、ターンがしたい、上達したいと思ってくれればいいと思います。

今回の参加者3名の足並みに違いがあり、トレーニング内容に苦勞をしましたが、それぞれ全力で滑っていました。そして、楽しんでくれたようで、嬉しく思いました。マンツーマンで、サポートできれば、もっと楽しめたかなと感じました。

アルペンスキー ヘッドコーチ ● 三宅 徹

待ちに待った冬季合宿。残念ながらアスリートの参加者数は例年の半分でありました。近年の積雪不足が心配ではありましたが、今年は、十分な積雪量であり、天候にも恵まれ好条件での練習ができました。

1日目到着後すぐに数時間のトレーニングで足慣らし。2日目は午前と午後にじっくり課題を見極めつつ滑っていました。最終日に発表会もあるということで、事前に滑るコースなどを事前に練習して終了。1日たっぷりトレーニングした疲れは美味しい食事と入浴で癒して自室でゆっくり過ごせたようです。3日目は、練習後、各グループ別に発表するお馴染みのイベント。アルペンスキーのグループは、ポールで設定したロングコースとショートコースを滑りました。スノーボードグループでは、練習してきたいろいろな滑り方を交えて総合滑走を披露しました。スノーシューインググループでは、30mの直線での2名同時スタートの競走。真横で見守るギャラリー全員の声援を受けスタート、ゴール。いっぱい拍手に嬉しさもいっぱいでした。コロナ禍が落ち着いたおかげで今回合宿ができプログラム担当者としてもほっとしています。自然の中での屋外スポーツ活動の醍醐味をたくさんのアスリートの体験してほしいです。

今後の冬季合宿が中止することなく実施されることを楽しみにしててくださいね。最後になりましたが、今回協力いた

いたコーチの皆様にご心より感謝いたします。次回以降も継続したご支援をお願いいたします。

アルペンスキー コーチ ● 谷澤 祥行

久しぶりの合宿、一番の感想は「アスリートに会えて嬉しかった！楽しかった！」です。何気ないコミュニケーションが新鮮で、改めてコロナ禍の窮屈さを感じました。

活動班では、3名コーチでD班を担当しました。アスリートは6名でスタートし、最終的には8名に増えました。トレーニングでは、リフトも多く乗れましたし、ケガもなく無事に成果をもって楽しく合宿を終えられて良かったです。

ファミリー ● 山崎 美子

久々の冬合宿、期待と不安で出発当日を迎えました。コロナ禍の中、無事に帰宅出来るかハラハラドキドキで待ちました。

参加者、皆んな元気に帰宅できて、本当に良かったです。

雪も豊富にあったようなので、しっかり楽しめたのではないのでしょうか？大樹も帰宅した次の日、作業所に行った時、冬合宿で食べた夕ご飯の様子等嬉しそうに伝えてたようです。

いつもより、緊張感のあった冬合宿だったと思いますが、コーチ、ボランティアの皆様のおかげでまた貴重な経験ができました。ありがとうございました。冬の大会目指して、今後も頑張れたらと思います。

ファミリー ● 道畠 美佳

3年ぶりのスキー合宿に参加出来た事を感謝します。本人にスキー合宿に行くかを聞きましたら、行くと即答でした。彩も35歳になり、年齢的にも怪我などを考えると、後どれくらいできるのかと思い、コロナ禍ではありましたが申し込みました。

以前指導して頂いたコーチがついて下さり、今年は本人もステップアップできたようで、その事が嬉しかったようで、合宿からの帰りも興奮さめやらぬ様子で『スキー楽しかった』『上手に出来たで、すごいやろ』と本当に嬉しそうに話をしていました。本人なりに自信がついたと思います。スペシャルオリンピックを本人がやると決めた事は続けてきましたが“継続は力なり”をあらためて感じました。ありがとうございました。



「2023年スペシャルオリンピックス冬季世界大会（ワールドゲーム）ベルリン」日本選手団 決定！

今年6月16日～25日の10日間にわたって開催される世界大会日本選手団に、大阪から1名のアスリート2名のコーチが選出されました。昨年開催されたナショナルゲームに参加したアスリート、コーチから希望者を募り先行されました。柔道の平岡拓晃さんを団長として、アスリート36名パートナー11名コーチ役員26名合計73名が9競技に参加します。大阪から選出された3名をご紹介します。応援よろしくお願ひします。

バドミントンアスリート ● 竹中 有花

広島でのナショナルゲームは久しぶりの大会だったのでとても緊張しました。終わってからベルリンの世界大会に行ける事になり、アテネの世界大会でもいろんな国のアスリートに会えて楽しかったので、今回も頑張りたいです。

バドミントン コーチ ● 木庭 照美

6月のWGベルリン大会にコーチとして参加をととても嬉しく思っています。同じ競技のアスリートだけでなく、他競技のア

スリート達のサポートもできるように精進したいと思います。

世界のSOの様子を肌で感じられる素敵なチャンスを活かせるように頑張ります。選手団の一員として「PRIDE」を持ってアスリートのサポートをして、笑顔で過ごしたいと思います。

ボウリング コーチ ● 柳井 祥晴

アスリートやパートナーが普段のトレーニングの成果をベルリンでの世界大会でも発揮できるように、サポートをしていきたいと思っています。また、大会参加を通して貴重な経験と思い出に残る大会になってほしいと思っています。

◆◆◆◆◆ ご寄付お礼 ◆◆◆◆◆

ゴルフ会場としてご支援いただいています「和幸カントリー倶楽部」様よりご寄付を頂戴しました。倶楽部設立30年を記念して、2022年10月21日に『GPRインビテーション』が開催され、そのスタート組としてSON・大阪アスリート2名が参加しました。表彰式にて、一般社団法人GPR協会様と和幸カントリー倶楽部様よりご寄付をいただき、SOの活動をご参加の皆様にご紹介いただき、今後のご支援もお約束いただきました。ありがとうございました。



ご寄付・ご協賛いただいた皆様（順不同・敬称略）2022年1月1日～12月31日

マルホ株式会社	SCSK株式会社	S C S K社会貢献活動クラブEarth One			
阪急電鉄株式会社	ダイキン工業労働組合	明治安田生命保険相互会社			
サントリーホールディングス株式会社	株式会社ベイ・コミュニケーションズ	株式会社コミュニティスタイル			
株式会社産業経済新聞社	宗教法人四天王寺	システムスクエア株式会社			
弁護士法人 淀屋橋・山上合同	大阪府ボウリング連盟	おそうじ本舗 住道店			
関西ユナイテッドプロテクション株式会社	滋慶学園グループ	一般社団法人大阪府サッカー協会			
イオンスタイル 大日店	株式会社トレント	大阪シティ信用金庫			
大阪新梅田シティライオンズクラブ	恩地食品株式会社	学校法人エール学園			
大阪西シティライオンズクラブみらいへ支部	社会福祉法人わらしべ会	株式会社日本パーソナルビジネス			
株式会社ぼとふカンパニー	しらゆり保育園	ゆりかご保育園			
和幸カントリー倶楽部	一般社団法人大阪府サッカー協会	福岡博多中ライオンズクラブ			
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	一般社団法人GPR協会				
横田 憲子	古田 俊雄	築島 肖吉	井原 宗義	福田 雄三	赤松 祐吉
小川 節子	溝上 久美子	高橋 真由美	中村 忠雄	喜多 芙美子	木本 和義
坂田 良雄	玉井 恵美子	西口 均	野 利雄	福本 幸子	柳瀬 彩子

編集後記

新しい年が、始まって2か月が過ぎました。大阪の活動も感染拡大に充分注意しながら継続しています。グータッチにも慣れてきましたが、日常の平穏さが、大切なことを身にしみて感じています。平和であることを守る努力が必要なことを意識せざるをえません。改めて継続は力です。今回の題字は、「山崎 翔央さん」です。

事務局長 井上 幹一

認定特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・大阪

●会員報告（2023年1月1日現在）

正 会 員／29名

一般会員／715名

賛助会員／法人会員：24団体 個人会員：611名